

施策評価シート(令和2年度)

(基本施策の大綱) 2.健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (6)文化芸術の振興と文化交流の促進

(評価担当者)

生活文化部長 青木 正彦

基本施策が目指す姿

市民が、文化的な個性や魅力にあふれたまちの中で心豊かに生活しています。

関連する分野別計画

亀山市文化振興ビジョン

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	亀山市芸術文化協会の団体数	団体	47	H27	43	40	38	35		50
2	亀山市芸術文化協会の会員数	人	728	H27	637	616	511	463		750
3	文化会館自主文化事業にかかる入場者数	人	16,746	H27	16,508	14,496	11,470	1,953		17,600
4	市主催等の公募展への出演・出展者数	人	2,341	H27	1,515	1,100	1,108	773		2,500
5										

市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	芸術や文化に関わる機会が充実している	重要度 0.69	0.63	0.63	
		満足度 0.56	0.64	0.64	
2		重要度			
		満足度			
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	文化施策の基本的な考え方を示す条例や地方文化芸術推進基本計画策定のためのアンケート調査を行った。また、かめやま文化年事業は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、多くの事業が中止又は延期となったが、感染症対策を講じつつ、計画44事業中、18事業を実施した。また、文化の拠点施設である文化会館においては、自主事業など各種事業が開催されるほか、施設面においては、大ホールの冷却塔改修工事を実施し、計画的に施設の整備を進めるなど、市民の利用環境の向上を図った。その一方で、文化芸術活動では、様々な活動成果を発表する機会により、市民の活動意欲の向上を図ったが、亀山市文化芸術協会に所属する団体数・会員数が減少するなど、成果指標の数値が下降しているとともに、アンケートにおける満足度も低いことから総合判定をBとした。
反省点・課題	
かめやま文化年プロジェクトの集大成となる、かめやま文化年2020は、多くの事業が中止又は延期となったものの、コロナ禍で活動する機会が減少した団体及び個人の発表の機会の提供や市内の歴史文化に触れる機会の提供を行うことができたが、今後、これまでの文化年の成果を踏まえ、更に市民が文化活動に関わる機会を広く創出していくため、新たな文化施策を推進していく必要がある。一方で、亀山市芸術文化協会の団体数・会員数ともに減少するなど、市民レベルの活動が目に見える形で広がっておらず、担い手の育成にも繋がっていない状況でもあることから、文化芸術に対する市民の活動意欲を更に高めるよう、文化施策の基本的な考え方を示す条例制定や地方文化芸術推進基本計画策定において効果的な施策や事業を検討・整理し、取り組んでいく必要がある。	

今後の展開方針

かめやま文化年の検証を行いつつ、「文化年プロジェクト」は、地域間・世代間の文化交流を生かす機会の確保や市民団体主体の文化活動への支援を強化していく方向で検討を進めるとともに、これらを踏まえ、市の文化芸術の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための、「(仮称)文化芸術基本条例」及び「(仮称)文化芸術推進基本計画」の制定及び策定を行う。
また、文化の拠点施設でもある文化会館の利便性向上に繋げるため、計画的な施設改修を行い長寿命化を図っていく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		文化政策の推進					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	かめやま文化年事業は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、多くの事業が中止又は延期となったが、感染症対策を講じつつ、計画44事業中、18事業を実施した。また、文化政策の基本的な考え方を示す条例や地方文化芸術推進基本計画策定のためのアンケート調査を行った。	評価	多くの事業が中止又は延期となったものの、実施した事業を通じて、コロナ禍で活動する機会が減少した団体及び個人の発表の機会の提供や市内の歴史文化に触れる機会の提供を行うことができた。また、令和3年度の条例制定・計画策定に向け、準備を進めることができた。			
				まずまず進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17056	かめやま文化年事業	主	19,000 / 8,878		B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		文化交流の促進					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	かめやま文化年事業として、「高梁市との文化交流動画」、「かめやま文化大使の応援動画」等を制作し、行政情報番組やHPなどに掲載した。また、文化会館の指定管理者である地域社会振興会を支援したことで、市民ミュージカル、アウトリーチ活動など、コロナ禍においても、文化会館による交流事業が展開された。	評価	文化大使の動画出演、高梁市との文化交流動画の制作を通じて、コロナ禍においても工夫して文化交流の促進を図ることができた。また、コロナ禍においても文化会館事業を実施できたことにより、様々な人や団体が文化に触れ、文化交流できる機会を創出することができた。			
				まずまず進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17056	かめやま文化年事業	主	19,000 / 8,878		B	B
事業以外の取組	2010	地域社会振興会運営事業	標	29,900 / 28,232		A	A
	内容					活動	成果

施策の方向		文化の拠点づくり					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	文化会館大ホールの冷却塔設計単価見直し業務及び改修工事監理業務並びに改修工事を実施し、計画的に施設の整備を進めた。また、かめやま文化年事業「かめやま街明り」では、文化会館にイルミネーションやメッセージキャンドル等の点灯を実施した。	評価	工事の完了により、文化の拠点としての文化会館の施設整備を進めることができた。また、「かめやま街明り」の一部イルミネーションは、次年度以降も点灯を行い、文化の拠点として継承・活用していくことを検討することとなった。			
				順調に進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17057	文化会館等大規模改修事業	主	16,187 / 15,543		A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		文化芸術活動の活性化					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
C	活動	市美術展、俳句会は規模を縮小して開催したが、薪能、川柳会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。また、亀山市芸術文化協会の自主事業、文化会館事業による文化会館フェスタも開催が見送られた。市内各小中学校に合唱指導やプロの演奏家を派遣するアウトリーチ事業を補助支援した。	評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動成果を発表する機会が少なからず失われたが、その一方で、規模の縮小、新しい形での活動、実施方法の工夫などによって、できる限りではあるが、文化芸術活動が継続された。			
				あまり進んでいない			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	19009	亀山新能開催事業	主	0 / 0		D	D
	19074	一般事業(文化振興事業)	標	6,534 / 5,921		B	B
事業以外の取組	19076	市展開催費	標	2,889 / 2,422		B	B
	内容					活動	成果